

グローバル・ヴィレッジ(GV) 2021 年活動報告

2021年11月、グローバル・ヴィレッジは創立30周年を迎えました。長きにわたりご支援いただいた皆さまのおかげです。心から感謝申し上げます。

3月、バングラデシュのフェアトレード団体ネットワーク「ECOTA」が企画した女性のエンパワメントを目指す研修プログラムを支援するためのクラウドファンディングを実施。4月は『ザ・トゥルー・コスト』オンライン上映会、5月は世界フェアトレードデーにSDGsをテーマとしたフェアトレード講座をオンラインで開催。11月はフェアトレード事業を行うピープルツリーと共に、オンライン記念イベントの実施や特設サイト、SNSで情報を発信しました。

日本国内でもコロナ禍の収束が見えない中、フェアトレードの学校は隔月でオンライン開催するなど工夫して継続。学校等への出張講演は17件の実施があり、フェアトレードへの関心の高まりが感じられました。

【収入・支出状況】

(会計年度1月1日～12月31日)	2020	2021
	(単位:円)	(単位:円)
収入の部	5,063,397	3,485,677
会費収入	1,030,000	925,000
寄付金収入	3,514,183	1,903,959
啓発活動収入	519,214	656,718
支出の部	4,795,746	2,975,125
情報発信	301,250	195,186
啓発活動費	363,704	321,241
プロジェクト支援	3,509,640	1,887,414
活動費小計	4,174,594	2,403,841
人件費	228,000	228,000
家賃・水道光熱費	228,000	228,000
手数料	58,693	45,467
その他事務所諸経費	106,459	69,817
事務所経費小計	621,152	571,284
当期収支	267,651	510,552
前期繰越	48,493	316,144
次期繰越	316,144	826,696

収入の部は349万円で、クラウドファンディングによる寄付収入がその4割以上を占めました。会費収入は93万円と前年よりやや減少しましたが、啓発活動収入は「フェアトレードの学校」の参加費や出前講演の講師料などで66万円と前年に比べ大きく増加しました。

支出の部は298万円で、プロジェクト支援費の189万円には、バングラデシュの研修プロジェクトの初期費用として支出が確定した8,000ドル(91万円)が含まれます。また、インドのタラ・プロジェクトが行っているコミュニティ支援活動と、バングラデシュのタナパラ・スワローズが運営する保育所への支援金も拠出しました。

その他の経費は、商標登録費等の臨時支出があった前年と比べて減少しました。その結果、当年収益51万円を計上し、83万円を次年度に繰り越しました。繰越金は、バングラデシュの研修プロジェクトへの追加支援をはじめとする現地支援のためのプール金とします。

【活動報告】

1. 生産者支援活動

1) 女性のエンパワメント研修

前述の研修プロジェクトは、ECOTAが現地の開発NGO「クリスチャン・エイド」と共に実施し、フェアトレードの生産に携わる職人12万人のうち8割を占める女性たちのため、性差別のない職場、女性がリーダーシップを発揮できる環境を実現することを目指しています。まずECOTAメンバーの6団体から各2名、マネジメントレベルの人が受講、その後、6団体の現場で働く生産者の中から24名が教育係に選ばれて研修を受けます。プロジェクト終了後は、研修マニュアルやノウハウを他のフェアトレード団体やフェアトレードでない衣料品工場などにも活用してもらい、広くバングラデシュでものづくりに関わる女性たちの能力と地位向上につなげます。

プロジェクト費用総額は約330万円で、クリスチャン・エイドとイギリスのピープルツリー・ファウンデーションおよび日本のGVの3者で支援します。クラウドファンディングでは目標額を超える146万円のご支援をいただきました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

当初は同年7月からの研修開始を予定していましたが、現地でのコロナウイルス感染拡大によるロックダウン、およびECOTAが認定NGOでなく海外からの資金を受け取ることができない等の理由から実施を延期せざるを得なくなりました。

その後ECOTA内での検討の結果、認定NGOの資格を持つメンバー団体である「デュー・クラフト」が事務作業を担うことで打開が図られ、11月から具体的なプランニングが進み2022年2月にプロジェクトが正式に始動することとなりました。

《送金(確定)額》 90万8,800円(8,000ドル)

※送金は活動が開始する2022年2月以降に予定しています



2) フェアトレードパートナー団体のプロジェクトを支援

●タラ・プロジェクト(インド)

アクセサリーを手掛けるタラ・プロジェクトがコロナ禍で困窮する職人やその地域の貧困層の人びとに食糧や衛生用品を届ける支援活動、およびデリー郊外のバワナ地区で医療にアクセスできない貧困層の人びとに基礎的な医療サービスを提供する診療所の運営を支援しました。

《送金額》 40万7千円

※うち 23 万 7 千円をGVが拠出しました。上記はジュエリーブランド「RUKUS by yasuihiro tomita」と「CHAUNCEY UTLEY JEWELRY」よりご寄付いただいた 3 万 5 千円、およびピープルツリーのアクセサリーの売上に応じた寄付 13 万 5 千円との合計額です。



(左)小麦粉や油などの食糧を受け取った女性達
(右)バワナの診療所で診察を受ける子どもと母親

●タナパラ・スワローズ(バングラデシュ)

手織りや手刺繍の衣料品の生産に携わる女性達の子どもを預かる保育所の運営を支援しました。

《送金(確定)額》 25 万円

※うち 17 万円をGVが拠出しました。上記はピープルツリーのウェディングドレスの売上に応じた寄付 8 万円との合計額です。

●クムベシュワール・テクニカル・スクール(KTS) (ネパール)

手編みのニット製品を生産する KTS が運営する孤児院を支援しました。

《送金額》 35 万 2 千円

※KTSのファッションアイテム 1 点につき 100 円をピープルツリーより寄付したもので、GVからの拠出はありません。

●アッピタ(コスタリカ)

カカオ農家の生活向上を目指して、有機肥料の研究・開発や技術研修を行う農家の共同体を支援しました。

《送金額》 50 万円

※チョコレートの「カカオポイント」でご応募いただいたポイントに応じてピープルツリーより寄付したもので、GVからの拠出はありません。

●バングラデシュ衣料産業労働者連盟(NGWF)

縫製工場等で働く女性たちの地位向上を目指すNGWFが実施する女性リーダー養成講座の費用を助成。

《送金額》 10 万円

2. 啓発活動

1) 創立 30 周年記念イベントと情報発信

11 月 3 日に末吉里花さん(エシカル協会代表理事)、鎌田安里紗さん(エシカルファッションプランナー)のお二人とジェームズ・ミニ(ピープルツリー社長)の鼎談、同 14 日に長年の生産者パートナーであるバングラデシュ「プロクリティ」とネパール KTS の 2 団体とライブで繋い

だトークイベントを、いずれもオンラインで開催しました。このほか 30 年間の節目となったさまざまな出来事や功績についての記事など、改めてフェアトレードの意義を伝え広めることに力を入れました。



2) フェアトレードの学校

ピープルツリー自由が丘店でのリアル開催 6 回、オンライン 6 回の合計 12 回開催しました。オーガニックコットンをテーマとした回に Textile Exchange の稲垣貢哉さん、フィリピンの「プレダ基金」の活動を紹介する回に現地の情報を日本語で発信している MIKIKO さんをゲストに迎えるなど、多様な視点でお届けしました。

3) 講師派遣

- ・学校 11 件(大学 4/中学・高校 5/小学校 2)
- ・市民団体等 5 件
- ・企業 1 件



奈良県天理市の「てんりマルシェ」で行った講演(11 月)

学校での SDGs 教育や企業での SDGs 対応などでフェアトレードへの関心が高まったことを受け、件数が大幅に増えました。うち 8 件がオンライン開催です。

4) フェアトレード普及活動の支援

フェアトレードタウン運動などを推進する一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム、および東京都世田谷区をフェアトレードタウンにすることを目指す「フェアトレードタウン世田谷推進委員会」に活動メンバーとして参加し、フェアトレードの推進を支援しています。また、認定 NPO 法人開発教育協会(DEAR)の教材制作に協力し、「ファッションと気候変動」をテーマとした教材を 2022 年 3 月に発行予定です。

【2022 年活動計画】

バングラデシュの女性のエンパワメント研修が着実に実施されるようフォローしていきます。また、タナパラ・スワローズが運営する小学校が財政難に直面しており、支援のためにクラウドファンディングを予定しています。引き続き需要が高まると見込まれる出張講演は、DEAR の教材も活用してより積極的に実施します。

以上